



2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
RCは分かちあいの心
2007～2008年度
ウィルフレッド J. ウィルキンソン

Weekly Report

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：岩本 成郎
幹 事：西本 哲
クラブ広報委員：亀井 直人
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋
事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1331回例会

～会員増強及び拡大月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2007年8月23日(木) 晴 第7回

司 会：稲垣 豊会場委員
斉 唱：「日も風も星も」
ゲ ス ト：シャロンアート代表 柏岡恵理さん

会長挨拶

岩本成郎会長

皆さんこんにちは。2週間ぶりの例会ですが暑さにも負けず元気に明るい顔でのご出席有難うございます。

今年の夏は正に極暑、日本列島各所で気温上昇記録が続き、中でも40.8度は74年ぶり1933年の記録に並んだとか。地球温暖化が進み異常気象かと不安にもなりましたが過去にあったと聞き少しは安心しました。



さてせっかくの夏休み、やはり高校時代を過ごした知多半島へ出かける事となり8月14日快晴、知多中央道を走り師崎港からフェリーで伊良湖へと渡り夕暮時に真夏の海を眺め、過ぎし若き頃の夢多かりし事の想いにふけり寸余を楽しみました。

勝手な想像ですが知多半島はイタリア半島に形が似ている。例えば「ジェノバ」は長靴の形にした半島の付根、地中海に面した港町(名古屋港にあたる位置)でジェノバは古くから東方貿易を中心とした海洋都市でゆかりの人物も多い。真先に上がるのはコロンブスですね。アメリカ大陸発見者はこの地で生まれコロンブスは空港の名前にもなっているほど地元の誇り。他にも2人のマルコがいます。1人はマルコポーロ。世界の旅から故郷ベネチアに戻ったマルコはジェノバ海軍の捕虜になり獄中暮らしのあいだに捕虜仲間の物語作家に話を綴ってもらった本が「東方見聞録」である。これを愛読したコロンブスが黄金の島ジパングを目指し船出をしたとあります。「ジパング」とはマルコポーロの東方見聞録で日本を指すとされている地名で中国の東方1500海里にある黄金の島として紹介され英語のジャパン(Japan)はこの語から転じたものです。もう1人は「母をたずねて三千里」のマルコ少年でイタリアのアーティスト原作のクレオの中にある物語の主人公。ジェノバから一万二千キロの旅に出たマルコが困難の末ついに母と巡り会うというテレビアニメが有名です。2人のマルコやコロンブスに共通することは未知への旅であります。

世界各国で温暖化が進む今、地球を守る旅CO2削減京都議定書へ足並みを揃えてほしいものですね。

出席報告

泉 憲一出席委員

会員72名 出席53名 (出席計算人数50名)

出席率84.0%

8月 9日は補填により 92.0%

幹事報告

西本 哲幹事

・次週8月30日は第2回クラブフォーラムです。各委員会の方針並びに活動する計画の発表になっております。委員長さん又は代理の方は必ず出席をお願い致します。

臨時例会変更のお知らせ

名古屋北		9/14(金)		
名古屋東	9/3(月)			
名古屋東南		9/12(水)		
名古屋和合		9/12(水)		
名古屋名東		9/11(火)		
名古屋名北		9/12(水)※		
名古屋栄		9/10(月)※	9/17(月)※	9/24(月)※
名古屋昭和	9/3(月)		9/17(月)※	9/24(月)※
名古屋錦				9/25(火)
名古屋空港			9/17(月)※	9/24(月)※
尾張中央		9/12(水)	9/19(水)	
名古屋城北				9/25(火)
名古屋西南			9/20(木)	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。

ニコボックス

泉 憲一ニコボックス委員

・8月30日は63才の誕生日です。暑さがこたえる年令になってきました。 **田口 豊さん**

・8月18日は家内の誕生日でした。又、高森CCでゴールドマークでしたが何年ぶりかに89のスコアが出ました。

岩田 吉廣さん

・長らくお世話になっていました「ろく」をこの度ビル解体の為、8月10日をもって閉店しました。長い間ご利用いただきありがとうございました。

増田 盛英さん

・残暑お見舞申し上げます。

岩本 成郎さん

・8月20日 社長を退任し会長に就任しました。

大島 浩嗣さん

・残暑お見舞申し上げます。天野正明さんから良い言葉と素敵なアルバムを頂きました。感謝!

遠山 堯郎さん

・堀さんと東京の小金井ゴルフクラブに行ってきました。

内田 久利さん

・泉さんを拝顔して・・・

守谷 巖樹さん

・盆休みに帰省した長男が、「結婚したいので相手の親に会って欲しい」との弁。うれしい報告でした。

岡村 達人さん

・今月の1日と8日に両眼の白内障の手術を致しました。世の中がこんなに明るいのかと感心しています。皆様も体験されたらどうですか?

松波 恒彦さん

委員会報告

ゴルフ同好会:堀 慎治さん

ゴルフ日程についての場所変更

本日メールボックスの中に年間計画が入っております。9月28日に三好カントリーで行う予定だったのが手違いで、名古屋ゴルフクラブに変更とさせていただきます。ご訂正の方よろしくお願いたします。

マルチプル・ポール・ハリス・フェローの認証バッジ伝達式



3回目のマルチプル・ポール・ハリス・フェローになられた高村博三さんに岩本会長より認証バッジが授与されました

卓話

シャロンアート代表 柏岡恵理さん

「ココをおさえるとヨーロッパ美術がもっと面白くなる ～近代美術の流れ～」



皆様こんにちは。今日はパリを中心に発展していった近代絵画について、お話をさせていただきます。

さて、美術と言えば、皆様もすぐに絵画を頭に思い浮かべられるほど、絵画活動がさかになっておりますが、古代エジプト・メソポタミア・ギリシャ・ローマにおいては、彫刻の方が活躍しておりました。今日で言う絵画というものが一般に広まるようになったのは、教会美術をのぞきまして、約600年ぐらい前、ルネッサンス以降のことです。ルネッサンスの頃は天才的な画家 レオナルド・ダ・ビンチやミケランジェロ、ラファエロがローマやフィレンツェから生まれました。その後絵画が最も繁栄したのがパリを中心として発展していき近代絵画です。今日は19世紀全般にわたって展開した美術活動としてお話させていただきます。今日お話しするのは「新古典主義」から「印象主義」までです。

1789年のフランス革命によって人間活動のあらゆる面に大きな影響を与えられました。1804年、ナポレオン帝政がしかれました。それまでロココ趣味だったのですが、ナポレオン宮廷を中心とする新古典主義が始まりました。新古典主義というのは古代ギリシャ・ローマの芸術を規範にしようという運動です。そして、感じるより考えることの方が重んじられた、秩序の概念、どちらかという知的な芸術です。この新古典主義が始まったきっかけはやはりナポレオンの影響が大きかったようです。ナポレオンはローマの皇帝や文化にとっても憧れていました。その頃古代遺跡が発見されたのも重なって、古代ギリシャやローマを見本とする新古典主義が出てきました。その時に絵画の方でリーダーシップをとっていたのがジャック・ルイ・ダヴィッドです。ダヴィッドの絵で皆さんがよくご存知なのはルーブル美術館にある「ナポレオンの戴冠式」です。今回お見せしている絵は「マラーの死」という実際にあった歴史画です。マラーは革命の勇者として崇められていたほどの人で、この人が油断した時に10代のメイドに殺害されました。ダヴィッドは政治活動もしており、マラーを忘れがたい存在として描いたようです。この絵のどこが新古典主義かというと「構図」にあります。画面に対してモチーフも壁も水平線に平行に描かれています。「水平線構図」と言います。それから、「色がおさえられて」います。次にアングルの「グランド・オダリスク」です。ぱっと見ると「きれいな絵だな」といった感じですが、よく見ると「ありえない」絵です。何がありえないかというと、このようにベッドに寝そべると、体をひねっているので、本来なら腰にもっとしわが入るはずですが、それからまったくシミ・ソバカスが描かれていません。これが新古典主義の様式です。ギリシャ彫

刻を見本にしているのが、理想美の追求になっています。アングルも美を追求していたので、陶磁器の肌のようにきれいに白く塗ったようです。次にダヴィッドの弟子だったグロです。こちらはグロの絵「ペスト患者を訪れるナポレオン」になります。構図は先ほどの絵のように水平線構図ですが、前の2作とは違って「音」を感じないでしょうか。この絵はナポレオンがグロに描かせたものです。ナポレオンは兵士や民衆の信頼を得るために、ペスト患者を訪れたことがないのにこういう絵を描かせたようです。グロの様式は新古典主義ですが、心は感情的な人で、激しい色使いや劇的な表現に憧れており、心はロマン派的なのに新古典主義の表現をしなければいけないという板挟みになり、若くしてセーヌ川に身を投げてしまいました。

新古典主義の次に出てきたのが「ロマン主義」です。ジェリコーが描いた「メデューズ号の筏」は、ロマン主義宣言をした絵ということで有名です。この絵は本当にあったお話で、1816年にメデューズ号が座礁した事故がありました。最終的に残ったのが15名だけで、ジェリコーは実際にこの15名に会って話を聞いたそうです。新古典主義に対して、ものすごく「動き」があり「音」も感じます。新古典主義は知的で静的ですが、ロマン主義は動的です。次にドラクロアの「サルダナパールの死」です。こちらも実際にあった話をドラクロアが想像力を働かせて描いたものです。ロマン派の構図は「対角線構図」で、反対色を使うのが特徴です。

1848年の2月革命でロマン主義は終わり、その頃自然科学が発達し、色んな文化に影響を与えました。特に自然科学の客観的観察力は哲学・文学・美術に見られるようになり写実主義が生まれました。写実主義のリーダーがクールベです。クールベは理想主義を止め、本当に目に見えるものをあがままに描きました。こちらの「セーヌ河畔の娘たち」には上半身コルセット(下着)の女性が描かれています。それまででしたら絵に残るものに下着姿を描くということはありませんでした。写実主義は見た目通りに描くので、絵の具をパレットで混ぜて微妙な色を出すため色が鈍くなっていき、彩度の低い絵になります。そのことに疑問を持って描いた画家がマネです。マネを師事する若い人たちもだんだん目見たものをそのまま「感じて」描くという風に変っていきました。マネの「草上の昼食」は当時ものすごく批判を受けました。裸婦がいるだけで絵が明るくなります。モネの「睡蓮」は絵の具を混ぜなくてもっと明るい感じに描けないかと研究したものです。これが「色調分割」と言われています。当時初めてチューブ入りの絵の具が開発され、外で絵を描くことが可能になりました。クリーム色を作るのに、写実主義の頃は絵の具を混ぜて作っていたのが、色調分割では白や黄色の絵の具をそのまま画面に乗せ、少し離れて見るとクリーム色に見えるという手法を使ったおかげで画面が明るくなりました。

1874年に始まった展覧会でモネが「日の出」という絵を出しました。その時に新聞に載った批判から「印象・日の出」とタイトルを変え、「印象派」という言葉が生まれました。

印象主義の色調分割をさらに科学的に論理的に行おうとしたのが「新印象主義」です。スーラは全部同じドット(点)で描いています。新印象派はあまりにも論理的すぎて、芸術の幅を狭くしたということであり長くは続きませんでした。

セザンヌ、ゴッホ、ゴーギャンは後期印象主義の人々です。印象主義の勉強をして、それをまた独自の世界観を築いた人たちです。セザンヌは形と構図にこだわりました。ゴッホは個性が強く、感情に任せた筆使いが特徴です。ゴーギャンは色にこだわりました。そして20世紀に入ってフォービズムやキュビズムが生まれてきます。

今日は近代美術の流れをさっくりとお話しました。どうもありがとうございました。

今週行事

8月30日(木)

テーマ:第2回 CF

次週卓話

9月6日(木)

卓話講師:未定

テーマ: